

取組の概要

取組の概要 : 施設ぶどう産地の形成の推進
 計画作成主体 : 大田市農業再生協議会
 対象品目 : ぶどう(施設) (産地面積: 4.9ha)
 主な取組主体 : 島根県農業協同組合、農業者
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業(パイプハウス資材購入状況 及びハウスの高度化整備)

ポイント

大田市のぶどう生産に関連する産地ビジョン「1億円産地」の目標達成を目指す。

- ①新たなハウスの増設により、農業者の生産規模拡大を図る。
- ②ハウスの高度化整備により、高品質化や収量向上を図る。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 4.5ha
 販売単価 : 1,208円/kg
 販売額 : 28,729千円

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 4.9ha
 販売単価 : 1,207円/kg
 販売額 : 32,331千円



推進体制

地域の関係者(農業者等、JA、県、市等)が、栽培指導や販路確保、生産基盤整備などの農業振興に向けた事業を一体的に推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 意欲ある農業者への施設規模拡大へ向けた支援。
- 農業者のハウスの高度化整備を積極的に推進し、高品質化や収量向上に向けた支援。

〈県・市町村単独事業〉

- 県単独事業による施設整備及びハウスリース料の支援。
- 生産者の育成・確保に向けた農業研修生への助成や、就農時の施設・機械整備への補助。

事業効果

- 県単独事業を実施し、農業者の初期投資を軽減。農業者の生産規模拡大及びハウスの高度化整備により、生産者の生産意欲及び所得向上に繋がる。
- 高品質化や収量向上により、高単価・有利販売に繋がる。

～ぶどう(施設ぶどう)販売額～

